

角鹿中学校校舎の耐用年数に関する説明会

平成29年1月26日（木）19時より角鹿中学校にて、敦賀市教育委員会から、角鹿中学校、敦賀北小学校、咸新小学校、赤崎小学校の保護者の方々を対象に、同校舎の耐用年数に関して説明がありました。

同校舎（普通教棟、管理教棟）については、かつて、平成30年に耐用年数の60年を迎えるため、建て替えが必要であると説明された経緯がありますが、この建物の耐用年数とは、あくまで税務上、減価償却の基となるもので、国の財務省令で定められているものです。そのため「法定耐用年数が過ぎた建物がすぐに使用できなくなるというものではない」と、市議会でも答弁があったとおり、改めて説明がありました。

また、平成22年度に管理教棟、平成23年度に普通教棟の耐震補強工事を実施し、平成27年度にはコンクリートの鉄筋腐食の進行度合いを調べる中性化測定を行ったとの説明もありました。

測定の結果、管理教棟の一部で中性化が認められるものの、「問題なし」との結果で、耐震性に影響はなく、子どもたちが安全で安心して学ぶことができる環境であるとの報告がありました。その後、参加者からの「管理教棟の中性化が認められる部分への対応はどうするのか」という質問に対し、市教委からは、ひび割れなどが発生した場合、中の鉄筋が錆びないように、ひび割れ部分の補修や塗装を行うなど、引き続きしっかりと管理していきたいとの回答がありました。

最後に、現在、3小学校、1中学校を統合した小中一貫校の設立に向けた検討委員会を開催し、協議を進めているとの報告がありました。保護者の代表から説明に対する謝辞があり、説明会は終了しました。



説明会の様子